

科目名称：	地域文化	
担当者名：	竹村 裕樹	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
この講義では、豊かな自然と歴史文化を有する金沢市と白山市を取り上げて、過去から現在に至るまちづくりの歴史の変遷をふまえながら、そこで育まれた多様な伝統文化・産業などについて理解を深めることを目的とする。県都金沢は、加賀百万石の歴史伝統文化と新しい創造的拠点を有する都心軸の実現により歴史と現代の共存を図っている。また、白山市は8市町村が合併した県内最大の都市で、白山手取川ジオパークとして認定され、美川、松任、鶴来、白山麓の各地域では独自の文化が継承されている。両市とも全国有数の住み良い都市であり、今年3月の北陸新幹線敦賀延伸により、来街者の増加が見込まれる為、都市の一層の魅力アップが肝要となっている。今回は、講義に加えて、特に兼六園周辺文化の森や白山鶴来地区のフィールドワークを実施し、これらの現状と課題を体験するとともに、グループ討議により、課題の改善策を提案する。		
授業の達成目標・到達目標		
県内を代表する都市のまちづくりや文化について関心を持ち、幅広く学ぶ機会としたい。特に、現地学習（フィールドワーク）やグループワークにより、学生達がこれらの現状と問題を把握し、課題解決方策を取りまとめ、発表することを通して、学生達のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を図る。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	0	0	70	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容１》 地方公務員（石川県）：都市計画・まちづくり、総合土木	《経験年数１》 36年
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
グループでの議論	グループ員から満遍なく意見を求めて議論を深められた。	自ら積極的に発言し、議論を深めることに貢献した。	他者への意見を表明するなど議論に参加した。	議論の場に居たが意思表示はなく、議論に参加しなかった。
自分の意見の発言	テーマに沿い積極的に良い意見を発表し議論を進展させた。	他者の意見に対し、自分の考え方を示し、議論を深めた。	他者の意見に対し、賛成や反対の意思表示はできた。	自分の意見をほとんど表明できなかった。
レポートの作成	文章や図表の作成では自らリードし中心的役割を果たした。	文章や図表の作成にあたり、積極的にサポートした。	文章や図表の作成にあたり、ある程度の役割を果たした。	文章や図表の作成にあたり、ほとんど関わらなかった。
プレゼンの作成・発表	プレゼンの作成・発表では積極的に中心的役割を果たした。	プレゼンの作成・発表にあたり、積極的にサポートした。	プレゼンの作成・発表にあたり、一定の役割を果たした。	プレゼンの作成・発表にあたりほとんど関わらなかった。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回	オリエンテーション：本講義の目的と概要、全体の進め方、受講の留意点	金沢と白山の地域文化について、どんな事項があるか、関心を持って調べる。	30分
第2回	金沢のまちづくりの歴史の変遷①：寺内町～城下町（加賀百万石の都市計画）	金沢のまちづくりの歴史の変遷について関心を持って調べる。	30分
第3回	金沢のまちづくりの歴史の変遷②：現代の都市政策（都心軸構想）、歴史的町並み保全	前回の授業を振り返りながら、左記の項目について調べる。	45分
第4回	金沢市の文化政策～伝統文化と現代文化（行政担当者の講義）	金沢の文化政策について関心を持って調べる。	30分
第5回	金沢の伝統文化と風習、方言、課外実習（フィールドワーク）の説明	金沢の伝統文化と風習などについて関心を持って調べる。課外学習の準備をする。	45分
第6回	課外実習Ⅰ「金沢の歴史・文化を活かしたまちづくり」 兼六園周辺文化の森の文化施設群の回遊（21美、鈴木大拙館、歴史博物館、美術の小径等）	フィールドワークを行う場所や施設の下調べを行うなど、課外学習の準備をする。	45分
第7回	課外実習Ⅰ「金沢の歴史・文化を活かしたまちづくり」 原則土曜午前中実施	フィールドワークを行う場所や施設の下調べを行うなど、課外学習の準備をする。	45分
第8回	課題テーマⅠ「金沢の歴史・文化を活かしたまちづくり」のグループ討議①ワークショップ形式で課題の整理、解決案の提案	金沢の歴史・文化を活かしたまちづくりについて授業の整理をして、グループ討議の準備をする。	45分
第9回	課題テーマⅠのグループ討議②：各解決案Ⅰの取りまとめ、プレゼン発表と意見交換	グループ討議での課題解決案の取りまとめについて準備する。	45分
第10回	白山市のまちづくり政策と白山手取川ジオパーク（行政担当者の講義）	白山市のまちづくりなどについて関心を持って調べる。課外学習の準備をする。	30分
第11回	課外実習Ⅱ「白山の伝統産業と発酵文化の継承」白山市内の酒造メーカー経営者の講演及び酒造工場の見学（予定）	フィールドワークを行う場所や施設の下調べを行うなど、課外学習の準備をする。	45分
第12回	課外実習Ⅱ「白山の伝統産業と発酵文化の継承」白山市内の酒造メーカー経営者の講演及び酒造工場の見学（予定）	フィールドワークを行う場所や施設の下調べを行うなど、課外学習の準備をする。	45分
第13回	白山市の文化政策～白山麓から美川までの地域文化（行政担当者の講義）	白山市の文化政策について関心を持って調べる。	30分
第14回	課題テーマⅡ「白山市の伝統文化の継承と情報発信」のグループ討議①ワークショップ形式で課題の整理、解決案の提案	白山市の伝統文化の継承と情報発信について授業の整理をして、グループ討議の準備をする。	45分
第15回	課題テーマⅡのグループ討議②：各解決案Ⅰの取りまとめ、プレゼン発表と意見交換、全体の振り返りとまとめ	グループ討議での課題解決案の取りまとめについて準備する。	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業への受講姿勢（30%）、フィールドワーク・グループ協働レポート、期末課題レポート（70%）
課題に対してのフィードバック
フィールドワークやグループワークでの成果は、評価して講評するとともに、次回以降の振り返りに活用する。
教科書・参考書
教科書；特になし。適宜プリントを配付する。 参考書；川上光彦『地方都市の再生戦略』（竹村共同執筆）
白山市ワークシート（授業内で配付）